11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

[1] 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

(1) 個別事業等に関連した実践的・試行的活動の内容・結果等

中心市街地商店街共通駐車サービス券事業は、駐車システムを共通化することにより、商店街の利便性を向上させるサービスで株式会社街づくり岩国により運営されている。

開始当初の平成22年度は約41,000件の利用実績があり、平成24年度には約51,000件まで利用が伸びている。平成25年度は44,000件と減少はしているものの、今後の中心市街地活性化を進める事業と考えられるため継続して行う。

中心市街地に対する調査において「おしゃれな店・商店」、「趣味・専門的な店」や「食事をする場所」などのニーズが多かったことを踏まえ次の事業を行う。

- ・「空き店舗活用奨励事業」を平成20年度から商店街に範囲を限定していたが、中心市街地全体に広げることにより、店舗数を増やす。(平成16年度～19年度までは中心市街地を対象にしており、助成を受けた店舗数は14～19店舗/年度であった)
- ・「まちなか商店リニューアル助成事業」を実施することにより、既存店舗や新規出店の店舗改装の費用を助成する。
- ・「隠れ家探訪事業」、「起業家スター誕生支援事業」を実施し、店舗の存在をより多くの方に知ってもらったり、新規起業家を増やす。

その他本基本計画に記載する事業については、関係機関等と調整・検討を行い、計画期間内に確実に実施可能なものとする。

[2] 都市計画との調和等

岩国市の中心市街地活性化基本計画には、各種の上位計画がある。

本計画の策定に際しては、特に市街地の整備改善のための事業については、都市計画基本方針を踏まえ、都市計画マスタープランとの調和を保つことに努めることとしている。

あわせて、基本計画認定要件となっている準工業地域への大規模集客施設の立地規制についても、都市計画の手法で、特別用途地区の設定により規制を行うことによって、中心市街地の活性化に努めることとする。

(1) 岩国市総合計画〔平成26年9月策定〕

岩国市総合計画では、中心市街地活性化については基本目標「空港を軸とした活力ある産業と観光のまち」の中で「魅力的でにぎわいにあふれた中心市街地となっている」という施策目標を掲げ、基本方針を「中心市街地を活性化し、にぎわいのある都市拠点の形成を図るため、魅力ある商業空間を創出し、交流の場づくりを進めるとともに、高齢者をはじめ多くの人にとって住みよい環境づくりを進めます。」としている。「具体的な施策と内容」の中では「地域活力の源となる都市拠点、地域拠点づくりを目指し、岩国駅東西自由通路、東西駅前広場等の整備を推進するとともに、市民のより一層の交流と魅力ある商業環境の形成を促進します。」としている。

(2) 岩国市都市計画マスタープラン〔平成 23 年 3 月策定〕

平成 18 年 3 月の 8 市町村の合併も踏まえて策定された岩国市都市計画マスタープランの中で、都市づくりの目標として、「都市・地域拠点の形成・充実と集約型都市づくり」「拠点ネットワークの形成と地域循環型都市づくり」「多様な地域資源を活かした魅力ある都市づくり」「安全で安心して生活できる災害に強い都市づくり」「環境負荷の少ない持続可能な都市づくり」「市民とともにかたちづくりの協働の都市づくり」の 6 点を掲げ、特に岩国駅周辺においては、「交通結節機能を強化し、多くの人が集まるにぎわいと活力ある魅力的な中心市街地の形成を図る」「多様な都市機能が集積する利便性の高さを活かし、中高層住宅等による都心居住の促進を図る」「自由通路や駅舎等の整備による駅利用者の利便性の向上を図るとともに、東西市街地の一体化を促進する」としている。

(3) 岩国市都市交通戦略〔平成 23 年 3 月策定〕

都市交通計画の基本的な方向性を、「市民の交通手段選択の自由度とモビリティを高め、自動車交通に過度に依存しない交通体系の形成」としており、地区別の方向性として【岩国駅周辺、錦帯橋周辺地区】については、「公共交通、徒歩、自転車を中心とした交通環境の形成を目指す」「中心市街地活性化や歴史的環境整備とも連携した賑わいのある交通空間形成を目指す」としている。

(4) 準工業地域における大規模集客施設の立地制限

岩国市では、都市機能の無秩序な拡散を防止し、様々な都市機能がコンパクトに集積した都市構造に転換し、人口減少、超高齢社会にふさわしいまちづくりを実現するため、岩国市内の準工業地域全域における大規模集客施設の立地を制限する特別用途地区を平成 21 年 2 月に都市計画決定し、関連する条例として「岩国市特別用途地区内における建築物の建築の制限に関する条例」を平成 21 年 3 月に公布し、同年 7 月に施行している。

以上のように、岩国市では、基本計画の策定に際し、都市計画等との調和を図りながら、中心市街地の活性化に努めることとする。